



令和7年 8月29日(金)  
石垣市立白保小学校  
TEL: 86 - 7840  
FAX: 86 - 7396

## やりたいことを実現させる2学期に！

40日間の長い夏休みが終わり、久しぶりに子どもたちのにぎやかな声が帰って来ました。小学校らしい本来の姿に戻り2学期が始まりました。しかし、以前は全国的に9月1日が2学期のスタートだったはず。いつの間に8月下旬からが定着してしまったのでしょうか。まだまだ暑いのに…。調べてみると、一昔前よりも教える教科や学習内容が増え、授業時数が足りなくなってきたことと、教室のエアコンの普及が大きな原因のようです。何だか時代に逆行している感じがしてなりません。長い休みが終わってしまい、始業式での子どもたちは多少名残惜しそうでしたが、ほとんどの児童が元気に登校してきました。この2学期は「心を強く大きくたくましく成長させ、**やりたいことが実現できる2学期にしていこう。**」と話しました。(詳しくは以下に掲載します。)

### 心を強く大きくたくましくするには

大人から「やらされる」のではなく、自分の「やりたい」と出会い、その活動に没頭していけば必要とされる力＝学力なども自ら獲得し向上させていこうと思えるようになります。(学力向上への土台づくり) 子ども時代にしっかり遊んできた子は「やりたい」と思える力が高くなり、様々なことに意欲を持って没頭できるので、従来の学力(認知能力)にもプラスに作用しているという研究結果が出されています。(2014)

また、遊びに限らず、人は様々な場面で「自己決定」の機会が必要です。自分で決めた体験や経験は、自分で決めることができたという自尊心を高め、次からも自分で決めたいという意欲に繋がっていくからです。ところが、子どもが迷ったり選択を悩んだりしている場面で、「こっちのほうがいいよ」「こっちにしたら?」「こっちにきなさい」と一方的に決めてしまう大人がいます。「結局決めるのはいつも大人だ」ということが続くと子どもは自己決定する意欲を失い「どっちでもいい(どうでもいい)」と答えてしまう子になりかねないのです。

こうした日常的な場面で、子どもが意欲を持てる大人に育つかどうか問われるので、親や教師など子どもに身近に関わる大人は特に気を付けなければなりません。「やりたい」と思える力を私たち大人も子どもも持たなければ、多くの場合、目標や課題の設定はできないのです。

(中山芳一 著「非認知能力を伸ばすコツ」より)

学力向上は強制したところで培われるものではなく、本人の意欲や意志決定力(非認知能力)に関わっているということがよく分かります。大人の関わりとして、あれこれ口出しせず、ルールを決めさせる、決めたルールに気づかせる、提案するなどがあげられます。大人の声掛け次第で子どもの未来は変わります。「できない理由」ばかりを言って弱音を吐くのではなく、自己決定できたという自信が心を強く大きくさせ、自立の心を育て、次の意欲にまたつながっていくのです。

### 9月の行事予定



- 2日(火) 郡民陸上大会選手選考会(放課後)
- 3日(水) 委員会活動 身体測定(高学年)
- 4日(木) 身体測定(低学年)
- 5日(金) 午前授業(給食あり)
- 6日(土) 旧盆(ウーケイ)
- 8日(月) 読書月間スタート

PTA 文化部読み聞かせ

- 10日(水) クラブ
- 11日(木) 授業参観日(2・3校時)

夏休み作品展

- 15日(月) 敬老の日(公休日)
- 18日(木) ふく木の会読み聞かせ

火災避難訓練

- 23日(火) 秋分の日(公休日)
- 27日(土) 郡民陸上競技大会

- 10月5日(日) PTA 作業(運動会前)
- 10月18日(土) 運動会



### 正門の開閉が楽になりました！



8月6日～8日の期間、PTA 事業部長の宮良 英樹さんと副部長の君島 勉さんのお2人に正門の修繕をしていただきました。?年前に造られた以前の正門はレールの部分が錆びて老朽化し、溝と車輪のすき間に砂が詰まる、曲がっているなどの理由で大人でも開閉するのに相当な力が必要でした。お2人はこの夏休み期間を利用し、オオバアコウの木陰での作業ではありましたが、日中の暑い中ずっと修繕作業を行ってくれました。また宮良さんは、陸上選手選考会や運動会に向け、トラックの走路1周分の芝生を重機で削り、走りやすいように平らな状態にさせていただきました。この間、校長と教頭で校内外の草刈りと清掃作業を行いながら、お2人の作業を見守っていました。また、ヤギも2頭連れてきてくださり、草刈り作業の手伝いもしていただきました。改めてお2人に感謝申し上げます。



# 2学期 頑張るぞ！

## 石垣市内小中校で始業式

石垣市内小中学校の2学期始業式が28日、各校で行われ、児童生徒が40日間の夏休みを終え、元気よく登校した。

このうち白保小学校（北田憲司校長・児童123人）は午前8時25分から体育館

で始業式を実施。校歌や「白保の子どもたち」を元気に斉唱した。北田校長は夏休み中に取



始業式で元気いっぱい  
に歌を歌う白保小の児  
童ら。28日午前、同校  
体育館

り組んだことや思い出を振り返りながら「やりたいことを実現させる2学期にしよう」と呼びかけ。「やるかやらないかを決めるのは自分自身。自分で考えて行動する自立を目指してほしい。できない理由をいうのではなく、心のスイッチを押して強く、大きく、たくましくなしてほしい」と激励した。

児童を代表して6年生の多宇正穂さんは「夏休みの一番の思い出は浅草寺の雷門を見られたこと」と話し、「2学期はテストで高得点をとれるように頑張る。小学校生活の最後の運動会を楽しみたい」と目標を立てた。

始業式後は各教室で宿題の提出や清掃、学活などを行い、夏休みモードの気持ちをリフレッシュ。学期で最も長い2学期のスタートを切った。



さばり夏休み  
かんバツジ  
つくりました！

